

日本学術会議 地球惑星科学企画分科会（第2期・第3回）議事録

1. 日時 令和3年2月6日（土）13:00～15:00
2. 会場 遠隔会議（主催会場：東京大学）
3. 出席：沖大幹、三枝信子、佐竹健治、田近英一、中村卓司、西弘嗣、春山成子、堀利栄
4. 議題等
 - （1）第25期の分野別委員会，分科会等の活動について
 - （2）地球惑星科学分野の大型研究計画について
 - （3）その他
5. 配布資料
 - 資料0 地球惑星科学企画分科会（第25期・第2回）議事要旨
 - 資料1-1 【ご連絡・依頼】第25期の分野別委員会，分科会等の活動について
 - 資料1-2 第25期の分野別委員会，分科会等の活動について
 - 資料1-3 地球惑星科学委員会組織図
 - 資料2 学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン2020
 - 資料3 今後のスケジュール
 - 参考資料 日本学術会議のより良い役割発揮に向けて（中間報告）

6. 議事内容

（1）第25期の分野別委員会，分科会等の活動について

委員長より、資料1-1と1-2に沿って、12月25日付で学術会議幹事会から第25期分野別委員会委員長あてに連絡された内容について説明があった。各委員は、分野別委員会、担当する分科会、関連する学協会等の状況や参考資料「日本学術会議のより良い役割発揮に向けて（中間報告）」に対する意見を述べ、全員で議論を行った。最後に、委員長より、各分科会委員長は、資料1-2の「1.」から「5.」に対応するコメントを委員長あてにメールで提出するようにとの依頼があった。沖委員からは、第25期に各分科会が計画している活動が資料1-2の「1.」～「5.」とどのように関連するかという視点で考えていただければよいのではないかとコメントがあった。

（2）地球惑星科学分野の大型研究計画について

委員長により、資料2と3に基づき、地球惑星科学分野の大型研究計画への対応について説明がなされた。委員からは、学術会議の「学術の大型施設計画・大規模研究計画マスタープラン」が今期どうなるか分からない状況のため、それとは直接関連づけず、また予算措置との関連についても触れずに、地球惑星科学分野で取り組むべき重要な大型研究計画という趣旨で提案を募集する方向が望ましい等の意見が出された。今後は、6月を目途に実施するヒヤリング（ワークショップ）に向けて準備を進めることとした。

（3）その他

中村委員より、日本学術会議と国際宇宙空間研究委員会（COSPAR）が合同で表彰制度を新設する可能性について説明がなされた。今後、分科会等から正式な提案を行う前に学術会議幹事会と事前相談することとされた。

西委員より、2月15日（月）開催予定の学術フォーラムについて周知があった。